

事務事業 No./名称	□サービス部門 会計-01 会計事務 ■支援部門						
主管課	会計課	関連課					
分野名	行財政運営						
目標 (目標値)	審査・出納事務の適正かつ効率的な執行 (適正率 100%)						
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考		
	人口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯				
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	9,612	9,406	9,699			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	9,612	9,406	9,941			
	人員配置数	7.0	7.0	8.0			
	人件費(千円)	60,783	60,667	71,177			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	70,395	70,073	80,876			
	市民1人当りの経費(円)	397	396	458			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
審査・出納事務の適正な執行管理	◎	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
		実績値	100.0%	100.0%	100.0%		
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
会計事務	9,612千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	支出負担行為の確認、支出命令書の審査等現金の出納及び保管			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	(1) 支出負担行為等の書類審査、出納事務の適正かつ効率的な執行 (2) 指定金融機関から要望のある公金の口座振込等手数料有料化、口座振替及び口座振込データの伝送(オンライン)化に対する対応
課題解決のための取組	(1) 複雑な事務や問題に対して、課内での意見交換等を通じて、共通の認識と統一的な対応ができるよう図った。 (2) 本市と同じ状況にある近隣市と情報を共有し、金融機関に対しては、本市の財政状況等を説明しながら手数料無料での実施に協力を得た。
未解決の課題	(1) 指定金融機関からの要望(口座振込手数料の有料化、口座振替及び口座振込のデータ伝送(オンライン)化)への対応(財政的課題) (2) 市民サービスの向上を目的とした公金納付環境の整備の検討(平成24年度実施計画事業)

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性	○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 支出負担行為等の審査及び公金の出納事務については、常に正確性が求められており、今後も適切な執行に努める。また、金融機関からの要望については、本市の財政状況を踏まえつつ調整を図っていく。なお、公金納付環境の整備については、平成24年度から実施計画事業に基づき計画を進めていく。	※□事業完了 課長等名 会計課長 堀 英彦
		②妥当性	○			
		③有効性	○			
		④公平性	○			

